

富永三千敏

魚沼市議会活動報告



No.11 平成30年1月発行

富永 三千敏 〒946-0085 魚沼市下折立 528
TEL 025-795-2704 FAX 025-795-2080

初春の候、皆さまにはご清祥のこととお慶び申し上げます。昨年中は私の議会活動にご指導とご支援を賜り、厚く御礼を申し上げます。

新庁舎基本設計（案）の市民説明会が11月19日に開催され、この後に成案化されました。12月の定例会では一般会計ほか5会計の補正予算がいずれも可決、その他議案も全て可決されました。

基本協定を交わしたマルコメ株式会社の関連会社に水の郷工業団地の土地約40,000㎡を売却する議案を可決しました。当市の「雪・水・米等」の豊かな資源を活かした発酵食品を生産するようです。

平成29年第4回定例会「一般質問」

○新庁舎の雪冷房を問う

問 延床面積6,500㎡、30億円規模の新庁舎建設基本計画としたのち市民に説明した基本設計について問う。

- ① 雪冷熱冷房を取り入れる場合のインシヤルコスト、ランニングコストの比較計算はどのような方式を想定して行ったか。
- ② 雪冷熱冷房は再生可能エネルギー補助金を使うと初期費用の増加分は約2,330万円となるようだ。20年30年の使用と雪国魚沼の魅力発信による効果を考えれば高くない。雪冷房を取り入れるべきと思うが、どうか。

答 ① ガス、電気、雪冷熱、木質燃料、地中熱などのエネルギーを組み合わせた方式を8種検討した。
② ランニングコストは低くなるが、初期費用が高く、20年間トータルで600万円弱多く掛かる試算になった。公約の30億円、7,000㎡を超えるため採用しない。

富永補足 当初建設費を30億円、面積を7,000㎡としたが、雪冷熱を採用するとそれぞれ2,330万、720㎡の増加となるが、初期費用とランニングコストの合計の20年間のコストは600万円弱の増加ですみ、1年当たり30万円弱の増加である。ランニングコストは年間約100万安くなるので、さらに6年後の26年目にはペイできる。また、雪を貯蔵するので冬期間の消雪除雪が活用できる。



一般質問

○新ごみ処理施設について

- 問 ① 公募して決定しなかった建設候補地を2市1町の検討会で広域の中間地点を想定して選定中だ。当市内のゴミを処理する収集運搬委託業者と廃棄物処理法許可業者の各事業者の営業の見通しはどうか。
② 建設地が現地点より遠くなれば収集運搬経費が高くなる。市内各事業者の事業継続のための手立てをどのようにするか。

答 ① 現在の業者等の状況と大きく変わらないと考えている。
② 一般家庭のごみ収集運搬委託業務は継続する方針だ。事業所ごみの収集運搬許可業者は民間企業であるため、市が指示等を行う立場でない。

魚沼市有機センターの肥料について

魚沼市有機センターで生産・販売していた特殊肥料の原料である畜ふんの一部に肥料取締法で特殊肥料としては認められない凝集促進剤が含まれているものが29年7月に判明し、同センターは生産を停止し、農家在庫について回収を行いました。

その後、9月に普通肥料の認可を取得し、10月より生産・販売を再開していました。

この度29年11月に制度が改正され、指定された凝集促進剤を家畜等の排泄物の処理に使用したものを原料と

する肥料については、堆肥等の特殊肥料として都道府県知事への届出のみで生産・販売できるようになりました。
7月に判明した魚沼市有機センターの原料に含まれていた凝集促進剤は今回の指定凝集促進剤でしたので、当時の肥料も届け出で特殊肥料として販売ができることとなりました。

開放型下部吸引通気方式の 堆肥づくり

産業建設委員会行政視察
(那須塩原市真嶋牧場)

牛舎の床に敷いたおが屑と畜糞を原材料とし、自動堆肥クレーンの運搬・切り返しによる5段階発酵で堆肥をつくる開放型吸引通気式の発酵で臭気の少ない方式であった。発酵槽の下部から吸引したアンモニアを含む排気を脱臭装置(アンモニア回収装置)に通す。その副産物の硫酸やりん安は液体肥料としても利用できる。発酵温度は60～80℃で排気温度も50～70℃で、排気熱は冬期間の乳牛の飲み水の加温に再利用している。

当市の有機センターは密閉型上部通気方式であり、アンモニアと湿気を含む空気が上部に飛散する。現在この下部吸引通気発酵方式への改良を検討中であるが、これを採用する前に当市と同じ発酵方式であって、当市と違う開放型を取り入れている近隣市町の有機センターも調査研究する必要がある。いずれにしても従事者の労働環境の改善が望まれます。



新庁舎の冷暖房の熱源方式別の比較

(雪冷熱冷房ほか木質ペレットなどの熱源の全8種類の方式のうち効率のいい上位3種について記載、比較)

冷暖房方式	A. ガス焚き冷温水発生機	B. 空冷ヒートポンプ	C. ガス焚き冷温水発生機 + 雪冷房
主エネルギー	ガス	電気	ガス + 雪
スペース	機械室 200 m ²	機械室 20 m ² 屋外機械置場 50 m ²	機械室 220 m ² 雪室 1,200 m ²
故障時対応			冷房は使える
補助金	なし	なし	再生可能エネルギー
イニシャルコスト (千円)	57,500 (1.00)	57,000 (0.99)	※1 96,600 80,800 (1.41)
年間ランニングコスト (千円)	5,310 (1.00)	5,490 (1.03)	4,340 (0.82)
ライフサイクルコスト (20年間) (千円)	192,000 (1.00)	192,000 (1.00)	197,700 (1.03)

※1 再生可能エネルギー補助金を利用できる場合の費用。
※比較対象の雪冷房面積は約2,100 m²分(執務室と市民ロビーが対象部分) 常時使用しない会議室や議場等の面積はガスヒートポンプ方式と電気ヒートポンプ(エアコン)の併用
※()内の数字はAの方式を1としたときの比率

富永三千敏 議会活動の概略

月	日	曜日	内 容
10	11	水	産業建設委員会 魚沼市有機センター視察
	14	土	会派会議
	15	日	コシヒカリ紅葉マラソンスタッフボランティア参加
	18	水	魚沼市議会行政視察①埼玉県飯能市(タブレット導入した議会運営)、②東京都あきるの市(議会広報誌の編集について)
	19	木	魚沼市議会行政視察③静岡県熱海市(リノベーションまちづくり)
	21	土	湯之谷小学校竣工記念式典
	23	月	議員全員協議会
	30	月	故長島忠美お別れの会(長岡市)
11	31	火	議会報告会(入広瀬・大栃山)
	1	水	しんせいクラブ勉強会
	1	水	議会報告会(広神・長松)
	5	日	議会報告会(小出・沢田)
	15	水	議会全員協議会
	15	水	魚沼から行く尾瀬1000人の児童絵画展展示
	17	金	中学生議会(湯之谷中学校): 議場にて
	19	日	新庁舎基本設計説明会(小出ボランティアセンター)

月	日	曜日	内 容
11	20	月	ものづくり振興協議会研修参加
	21	火	会派視察 妙高市(総合健康都市の取組について)南魚沼市(体育施設運営について)
	23	木	政経文化セミナー(新潟市)
	27	月	産業建設委員会行政視察 栃木県真嶋牧場(吸引通気式堆肥化施設)
	12	1	金
3		日	R352 早期開通促進期成同盟会総会
4		月	第4回定例会初日
6		水	第4回定例会
7		木	第4回定例会・議員全員協議会
11		月	総務委員会傍聴
12		火	福祉文教委員会傍聴
12		火	尾瀬ルート活性化委員会中間報告会
13		水	産業建設委員会
22		金	第4回定例会
26		火	平成30年度以降の米政策説明会

魚沼市議会の本会議がインターネットで見ることができます。[魚沼市](#) → [魚沼市議会](#) → 本会議録画映像配信
また、議事録もご覧いただけます。